

# クイック・レファレンス・ガイド

<b>用語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; <b>トラベル量</b>：アイ・ツー・アイ測定によるショックの圧縮総量。</li> <li>&gt; <b>サグ</b>：通常の乗車ポジションで自転車に乗った際のフォークの圧縮量。誰かに自転車を持ち上げてもらった状態で測定するのが理想的です。</li> <li>&gt; <b>圧縮ダンピング</b>：ショックを圧縮しようとした際に感じるオイル・ダンピングの抵抗。</li> <li>&gt; <b>リバウンド・ダンピング</b>：ショックが圧縮後に伸張する際のレート制御するオイル・ダンピングの抵抗。</li> <li>&gt; <b>プレロード</b>：スプリングにかかる初期の力。多すぎるとトラベル量が減少し、少なすぎるとショックに負担がかかります。</li> <li>&gt; <b>スプリングレート</b>：スプリングを1インチ圧縮するのに必要な力。</li> <li>&gt; <b>FLOAT</b>: Fox ロードオプティムエアテックノゾジー。エアショックの調整機能と軽さを持つコイルスプリングの走行機能を実現します。</li> <li>&gt; <b>ProPedal</b>: 大小の衝撃に対する敏感なコントロールと同時に、効率の高いペダリングを提供する技術。</li> </ul>	<b>支払いおよびお届け方法</b>	Visa、Master カード、小切手をご利用頂けます。  FOX Racing Shox は米国内のお客様に対し UPS Ground サービスで出荷しています。
<b>連絡先</b>	<b>FOX Racing Shox</b> 130 Hangar Way Watsonville, CA 95076 USA 電話：1.831.274.6500 北米：1.800.FOX.SHOX (369.7469) Fax：1.831.768.9312 Eメール：service@foxracingshox.com ウェブサイト：www.foxracingshox.com 営業時間：月～金 太平洋標準時間午前8時～午後5時	<b>保証に関する特別免責事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 通常の使用による摩耗および損傷、または通常のメンテナンスによって交換された部品。</li> <li>&gt; 通常の使用により摩耗し、損傷を受ける部品、および日常的なメンテナンスを要する部品。</li> <li>&gt; ブッシング</li> <li>&gt; サスペンション液</li> </ul>
<b>免責事項</b>	FOX Racing Shox は、ショックまたは自転車の走行、移送およびその他の使用によりお客様またはお客様以外の第三者に発生した損害の責任を負うものではありません。お買上げのショックが故障または正常に作動しない場合でも、FOX Racing Shox は、本マニュアルの保証事項の規定に従ったショックの修理または交換を超える一切の責任を負わないものとします。	<b>保証に関する一般免責事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 純正 FOX Racing Shox 以外の部品またはアクセサリの取り付け。</li> <li>&gt; 無理な引っ張り、放置、乱暴な取り扱いや誤用。</li> <li>&gt; 事故または衝突による破損。</li> <li>&gt; オリジナル・パーツの改造。</li> <li>&gt; 適切なメンテナンスを怠った場合。</li> <li>&gt; 配送時の破損、紛失（全額保障の輸送保険への加入をお勧めします）。</li> <li>&gt; 不適切なケール設置、岩石、衝突、あるいは不適切な取り付けにより発生した外部または内部の破損。</li> <li>&gt; オイル交換または FOX Racing Shox または認定サービスセンター以外で行なわれたサービス。</li> <li>&gt; 別段の指定がない場合において、過度のスプリングプレロード（最大2回転）によって発生したコイルの巻き付き。</li> </ul>
<b>保証書</b>	お手持ちのショックの工場保証期間は、自転車またはショックをお買い上げになった日から1年間（EC加盟国のお客様は2年間）とさせていただきます。保証サービスを受ける場合には、購入の際のオリジナルのレシートが必要となります。保証に関しては、FOX Racing Shox がすべての決定権を有し、故障の原因となった材料および技術料のみをカバーします。保証期間および関連法については、州または国で異なる場合があります。  通常の使用により摩耗および損傷を起こす部品、コンポーネントおよびアセンブリは、本保証の対象外となりますが、シールについては例外的に、購入日から90日間が保証対象となります。最終的な保証の決定権は、FOX Racing Shox が保持するものとします。  <b>FLOAT RP3、FLOAT R、FLOAT の保証事項</b> ：高い走行機能を維持し、永く安全にご利用いただき、かつ保証を受けることが出来るよう、かならず定期的なメンテナンスを行ってください。  <b>DHX および DHX Air の保証事項</b> ：DHX および DHX Air ショックが正常に機能するためには、最低 75psi のプースト・バルブ（リザーブタンク）内の空気圧が必要です。プースト・バルブ内の空気圧が75psi 以下の状態でショックを使用すると乳化作用が起きますが、これは Fox Racing Shox の保証サービスの対象外となります。	<b>保証に関する一般免責事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; FOX Racing Shox は、場合により所要時間は異なりますが、保証対象の作業を48時間以内に完了します。</li> <li>&gt; 番号 800.FOX.SHOX にお電話の上、FOX Racing Shox に RA（返品確認）番号と返送先住所をお尋ねください。米国外のお客様は、担当地域の国際サービスセンターにご連絡ください。</li> <li>&gt; パッケージの外側に RA 番号と返送先を明記の上、対象製品を、送料前払で FOX Racing Shox あるいはお近くの国際サービスセンターまでお送りください。</li> <li>&gt; 保証を受ける場合には、製品ご購入時の領収書が必要となります。</li> <li>&gt; 問題点の詳細な記述、自転車に関する情報（製造メーカー、製造年、モデル）、FOX 製品のタイプ、スプリングレートおよび差出人住所および昼間の連絡先電話番号を記載した紙を同封してください。</li> </ul>
<b>保証説明</b>			

## メンテナンス間隔

		作業項目	購入直後	各走行後	8時間ごと	40時間ごと	100時間ごと
		サグの設定 (すべての shox)	X				
		リバウンドの設定 (リバウンド調節付き shox)	X				
		ショックボディの洗浄 (すべての shox)		X			
エアスリーブメンテナンス (FLOAT または DHX AIR shox)	濡れて泥だらけの状態			X			
	乾いて埃まみれの状態				X		
		ブッシングおよびリデューサーの洗浄/点検				X	
		サスペンション液のサービス (必ず FOX Shox またはその認定サービスセンターで行ってください。)					X

# 目次

クイック・リファレンス／保証情報	102
安全事項	104
重要安全情報	104
一般的メンテナンス	105
サグ測定	105
FOX 高圧ポンプを使用	105
FLOAT / DHX エアショックの "スタックダウン"	106
AVA (空気量調節)	106
エアスリーブのメンテナンス	107
リデューサーの取り外し	108
<b>FLOAT: . . . . . 109</b>	
FLOAT SHOX の取り付け	110
サグ設定	110
リバウンド調節	111
ProPedal 調節	111
ProPedal バルブ調整	111
<b>DHX: . . . . . 112</b>	
DHX SHOX の取り付け	113
サグ設定	113
スプリング交換	114
スプリングオリエンテーション	114
リバウンド調節	114
ボトムアウト・レジスタンスの調節	114
ProPedal 調節	115
ブースト・バルブ	115
ProPedal およびブースト・バルブの相互作用	115
<b>DHX AIR: . . . . . 116</b>	
DHX エアショックの取り付け	117
サグ設定	117
リバウンド調節	117
ボトムアウト・レジスタンス調節	117
ProPedal 調節	118
ブースト・バルブ	118
ProPedal およびブースト・バルブの相互作用	118
<b>VANILLA: . . . . . 119</b>	
VANILLA SHOX の取り付け	120
サグ設定	120
リバウンド調節	121
スプリング交換	121
<b>外国語版</b>	
フランス語	22
イタリア語	42
オランダ語	62
スペイン語	82
日本語	102
<b>国際サービスセンター</b>	<b>122</b>

## おめでとうございます！

この度は、FOX SHOX をお選びいただきありがとうございます。本製品は、世界有数のサスペンションショックとして知られています。FOX Racing Shox の全製品は、カリフォルニア州サンタクルーズで、業界屈指のスペシャリストによって設計、テスト、製造されています。

FOX Racing Shox 製品をご利用およびご支援くださる皆様には、本製品が最高の性能を発揮できるよう、ショックを正確に取り付けることの重要性をご理解いただきたいと思います。このマニュアルでは、ショックのセットアップとメンテナンス方法をステップごとに説明しています。また後日、アフターサービス、保証を受ける際のお買い上げ証明としてレシートが必要となりますので、本マニュアルと共に保管することをお勧めします。

メンテナンスに関する詳細な説明は、Fox サービスマニュアルの該当製品の項目をご覧ください。このマニュアルでは、ステップごとの精密な点検修理作業の説明を、意図的に行なっていません。精密な点検修理作業は、FOX Racing Shox あるいは認定 FOX Racing Shox サービスセンターで行うことをお勧めしています。

## 安全事項

- > お手持ちの自転車およびサスペンションシステムを、常に最高の状態に維持して下さい。
- > 走行時には、体を保護する服、目を保護するためのゴーグル、ヘルメットを常に着用して下さい。
- > ご自身の限界を知り、その範囲内で走行して下さい。
- > 国際マウンテンバイク協会のトレイル規則に従って下さい。詳しくは、[www.imba.com](http://www.imba.com) をご覧ください。

1. オープントレイルのみを走行します。
2. トレースを残さないようにします。
3. 自転車を制御します。
4. トレイルでは、常に道を譲ることを心掛けます。
5. 動物を愛護します。
6. しっかりと計画を立てます。

## 重要安全情報

- > もしショックからオイルが漏れたり、通常とは異なる音がする場合には、ご利用をやめ、専門家によるショックの点検を受けて下さい。故障あるいは機能に問題のあるショックを利用されますと、自転車の制御を失い、致命的になりかねない重傷を負う危険性がありますので、ご注意ください。
- > 自転車のフレームおよびショックは改造しないで下さい。純正 FOX Racing Shox 部品のみをご利用下さい。改造、不適切なサービスやアフターマーケット部品を利用した場合は、保証の適用外となり、また、ショックの誤動作を引き起こし、自転車の制御を失い、致命的になりかねない重傷を負う危険性がありますので、ご注意ください。
- > このマニュアルの表紙裏にある推奨される定期メンテナンスに従って下さい。ショックに関するサービスは、米国内では FOX Racing Shox にて、また米国外では認定サービスセンターで行って下さい。ただし、エアスリーブとハードウェアの搭載に限り、お客様ご自身および小売店による修理およびメンテナンスが認められています。
- > FOX Racing Shox には窒素ガスが充填されています。ショックのアイレット側の端にある白いナイロン（プラスチック）性プラグを引き抜かないで下さい。ショックのガス充填部分は、FOX Racing Shox 技師のみが開けるものとします。窒素ガスで加圧されたショックを開ける作業は、危険が伴い、致命的になりかねない重傷を負う危険性がありますので、ご注意ください。
- > エアショックの場合、エアスリーブの修理を行うのに、ショックの窒素ガス充填部分を開ける必要はありません。



ショックが圧縮されたままの状態や、通常のニュートラルな長さ（ショックに荷重がかかっていない状態）に戻っていない（戻ることのない）場合には、ショックを引き離す、開く、分解または修理する等の行為を決して試みないで下さい。致命的な重傷を負う危険性があります。

## 一般的メンテナンス

FLOAT および DHX AIR ショック上に、エアスリーブの潤滑油がボディに少量残っていることがあります。これは通常のことです。もしエアスリーブの潤滑油が残っていない場合には、エアスリーブに再度潤滑油を注す必要があることを意味しています。ショック全モデルに関する他の留意点：

- > また苛酷な条件下で走行する場合は、より頻繁なショックとエアスリーブのメンテナンスが必要となります。このマニュアルの表紙裏にあるメンテナンス間隔を参照して下さい。
- > ショックは石鹼と水だけで洗浄して下さい。
- > ショックの洗浄に、高圧洗浄機を使用しないで下さい。
- > 内部機能の作業は FOX Racing Shox あるいは認定 FOX Racing Shox サービスセンターで行って下さい。

## サグ測定

以下の手順で、FOX Racing Shox のサグを測定します。

### 測定 #1

1. まず自転車に乗る前に、1つの搭載ボルトの中央から、別の搭載ボルトの中央までの距離を測り、記録します。これを“アイ・ツー・アイ”測定方法と呼びます。

エアショックには、ショックボディ上にO-リングがあります。このO-リングは、自転車に乗っていない状態で、エアスリーブのスクラッパーリップに対して押し上げられる形になっている筈です。もしこのO-リングがない場合には、“アイ・ツー・アイ”測定方法を使用します。

### 測定 #2

2. 通常の乗車スタイルで自転車に乗ります。乗り手の体重が、サドル、ハンドルバー、ペダルにそれぞれかかるようにします。また、乗り手が通常の走行時と同じギアおよび服装一式を着用するようにお勧めします。しっかりと自転車に乗った状態である必要があるので、壁やポストを支えにしても構いません。サドルやペダル上で絶対に跳ねないで下さい。
3. 補助の人が、アイ・ツー・アイの距離を測ります。

エアショックの場合には、自転車から降り、スクラッパーリップとO-リングの距離を測ります。これが、O-リング方式を用いたサグです。

4. 測定 #2 の値を、測定 #1 の値から引きます。2つの差違がサグです。

測定値 #1 - 測定値 #2 = サグ  
(例：7.875 - 7.275 = .600)

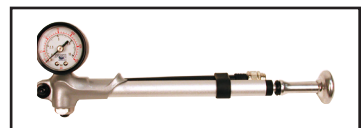
5. このマニュアルの各々のショックの部分について、エアおよびスプリングの設定表をご覧下さい。サグが仕様通りでない場合は、各々のショックの部分について、サグの設定に関する説明に従って下さい。

## FOX 高圧ポンプを使用

FOX Racing Shox 高圧エアポンプは、FLOAT、DHX、DHX AIR ショックにご使用いただけます。ポンプは、ショックに空気圧を加えたり、抜いたりするために使用します。

ショックの加圧：

1. ショックからシュレーダーエアバルブキャップを外します。
2. ポンプのバルブチャックを、ポンプゲージ上に圧力が表示されるまで、ショックのエアバルブに通します。この時約6回転させます。この時、エアバルブ上のポンプを強く締めすぎると、ポンプチャックシールが壊れてしまうのでご注意ください。



FOX 高圧ポンプ

- ポンプを数回転させます。圧力が少しずつ増えていくはずですが、もし圧力が急速に増えていくような場合には、ポンプがきちんとフィットしているかどうか、そしてエアバルブ上でしっかり締まっているかどうか確認して下さい。



ショックに空気圧がない場合は、ゲージにはゼロと表示されます。

- 希望する空気圧設定まで空気を注入します。エアショックのメインエアチャンバの平均空気圧は、50 から 300psi の範囲です。メインエアチャンバ内の空気圧は、決して 300PSI を超えないようにして下さい。圧力を低くする場合には、黒いブリードバルブを押して下さい。ブリードバルブを半分まで押し下げ、そのままの状態を保つと、ポンプとショックから空気が抜けていきます。ブリードバルブを完全に押し下げてしまうと、ほんの少量の空気しか抜けません。エアバルブ・フィッティングからポンプを抜くと、ショックからではなく、ポンプホースから空気が抜ける音がします。



ショックにポンプをつける時に、ホースに空気を十分入れる必要から、空気圧の表示が最低 10 から 20psi 程度まで下がることがあります。

- シュレダーエアバルブキャップを交換します。

## FLOAT/DHX エアショックの "スタックダウン"

特定の状況下において、FLOAT または DHX Air ショックが、下で止まってしまうことがあります。もし FLOAT または DHX Air ショックが、通常のニュートラルな長さ (アイ・ツー・アイ・ポジション) に戻らない場合は、外部エアスリーブやショックの他の部品を絶対に分解しないで下さい。ショックを分解すると、空気がエア・ネガティブ・チャンバー内に閉じ込められてしまい、大怪我をする危険性があります。この状況を「スタックダウン」といいます。

ショックが "スタックダウン" した場合は、FOX Racing Shox あるいは認定 FOX Racing Shox サービスセンターに製品を送り、サービスを受けて下さい。サービスおよび保証に関する情報は、このマニュアルの表紙裏にあります。

### "スタックダウン" を起こしたショックの点検手順:

- エアキャップを取り外し、シュレダーバルブを押しさげて、ショックの空気圧を下げます。エアキャップの上部を使い、シュレダーバルブを押し下げることができます。
- FOX Racing Shox 高圧ポンプを使って、ショックの空気圧を 250 psi まで高めます。
- もしショックが伸びなければ、ショックは "スタックダウン" を起こしています。



スタックダウンしたショックを、引き離す、開く、分解または修理する等の行為を決して試みないで下さい。大怪我をする危険性があります。FOX Racing Shox あるいは認定 FOX Racing Shox サービスセンターまでご連絡下さい。

## AVA(空気量調節)

特定の FLOAT モデルは、新しいレベルの微調整を可能にする AVA 技術 (右図を参照) を備えています。ポジティブ・エア・スプリング・チャンバーのボリュームを AVA で増減することにより、乗り手はスプリングカーブの形を変えることができます。AVA システムにより、リニア・スプリング・レートが標準的 FLOAT ショックよりも 30% 多いショックにすることができます。AVA は、最大 200 lbs のポトムアウト調節を可能にします。

AVA のチューニングは走行前に実施します。このシステムは、走行中の使用を想定したものではありません。調節前に、ショックを洗浄し、特に AVA エアスリーブの溝をきれいにしておく必要があります。AVA リングを回すには、ショックから空気をほとんど抜いた状態にする必要があります。



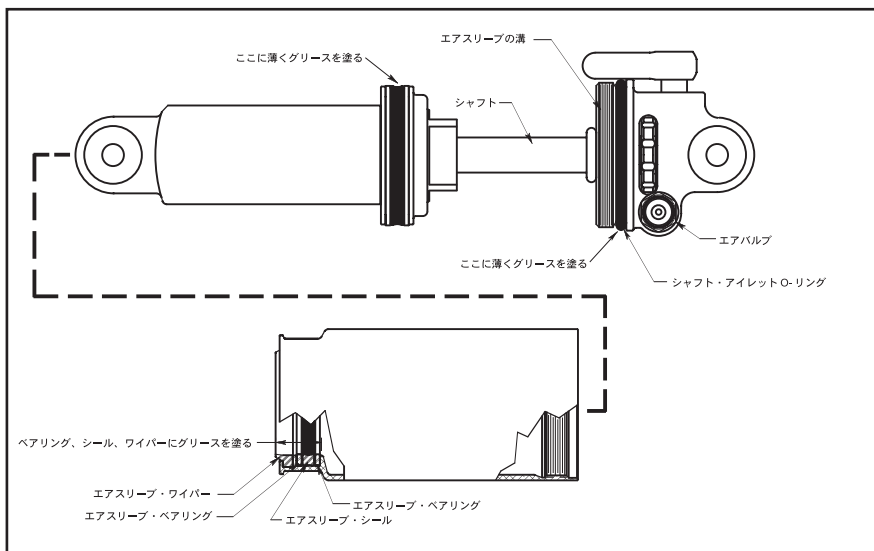
AVA エアスリーブ

ショックポンプを使用してショックから出来る限りほとんどの空気を抜き、AVAリングが回りやすいようにします。リングを、エアスリーブとかみ合っているワイヤーリングにほんの少し触れるまで回します。これが最大容量となります。ショックに空気を入れ、サグを通常の状態に設定します。AVAはサグに影響しません。ショックが簡単にボトムアウトしすぎる場合は、ショックの空気を抜き、エアスリーブの次の設定までリングを回します。そしてショックに空気を入れ、サグを通常の状態に設定して、再びフルストローク・テストを行います。お客様の走行スタイルと地形に最適の設定となるまで、この過程を繰り返します。

エアスリーブの作業は、他のFLOATショックにも行うことが出来ます。これ以外の通常のFLOATシールメンテナンスを行った後、特に泥だらけや埃っぽい環境での走行後には、AVAシールから汚れを落して下さい。ワイヤーリングとエアスリーブを外す時には、慎重に行ってください。シールと部品から汚れを落とし、破損や摩耗がないかどうかチェックします。再度注油し、慎重に組み立てます。重要なシーリングがある部分や注油が必要な部分に関する表を参照します。

## エアスリーブのメンテナンス

1. エアバルブから空気をすべて抜きます。
2. ショックを数回回転させ、ネガティブ・エアから圧力を抜きます。
3. 再度、エアバルブから空気をすべて抜きます。
4. 搭載されたハードウェアを取り外し、自転車からショックを取り外します。
5. ショックのどの部分もぶつけないように注意しながら、ソフトジョーバイスにあるシャフト・アイレットをクランプで締めます。
6. ドライバー、あるいはパンチをボディ・アイレットにスライドさせ、エアスリーブがボディから出ないようにします。
7. エアスリーブを左に回して緩め、ショックのボディを滑り落とします。
8. ドライバーまたはパンチを外し、ショックからエアスリーブを外します。



エアスリーブ：FLOATエアショックボディのオリエンテーションおよび位置

## 洗浄および検査

1. パーツクリーナーを使ってエアスリーブの内部から汚れを落します。エアスリーブ内部のシール、ベアリングを検査します。破損あるいは摩耗した場合には交換して下さい。
2. パーツクリーナーを使って、ボディ、ボディ・シール、ボディ・ベアリング、シャフトから汚れを落します。
3. ボディ・シール、ボディ・ベアリングに破損、摩耗がないかどうか検査します。破損あるいは摩耗した場合には交換して下さい。

## グリース塗布と組み立て

1. シャフト・アイレット O-リングとシャフト・アイレットの溝に、FLOAT 液または Slick Honey™ を潤滑油として注入します。
2. ボディ・シール、ボディ・ベアリング全体に潤滑油を塗布し、ボディ・ベアリング上の潤滑油のリザーブタンクにも残します。
3. エアスリーブ・シール、エアスリーブ・ベアリング、エアスリーブ・ワイパーに、潤滑油を軽く塗ります。FLOAT 液をここで使うこともできます。
4. エア・バルブをエアスリーブ・ワイパーがボディの端に来るまで、ボディ上をスライドさせます。この時にはエアスリーブは通さないでおきます。



**エア・ネガティブ・チャンバー内に留まっている圧力があるため、エアスリーブを圧縮するのは非常に困難です。ショックを自転車に搭載するまで待てば、自転車を使ってショックを簡単に圧縮できます。**

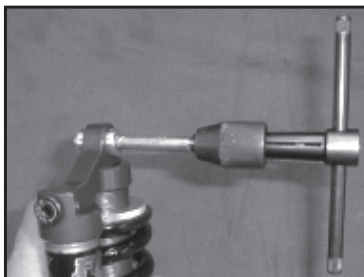
5. ブッシングとリデューサーを乾燥させます。
6. リデューサーをアイレット・ブッシングに取り付け、次にショックを自転車に再び取り付けます。
7. エアスリーブにネジを取り付けられるようになるまで、慎重にショックを圧縮します。エアスリーブがボディから滑り落ちないようにします。
8. エアスリーブをシャフト・アイレット・ハンドにしっかり通します。
9. ポンプの使い方の項にある、空気の入れ方の説明を参照し、ショックに空気を入れます。

## リデューサーの取り外し

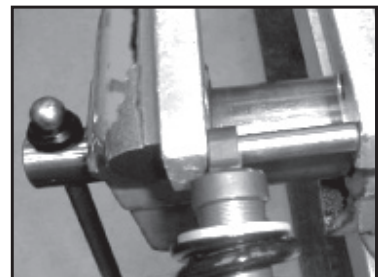
1. 1/4 インチのボルトエクストラクタ（下図を参照）を引くようにして左方向に回します。ブッシングのリデューサーがゆるんできます。
2. 反対側についても、同じ手順を繰り返します。
3. ステンレス製のスチールスリーブをショックのブッシングに差し込み、ショック・アイレットをソフトジョーバイスに取り付けます。
4. スリーブがブッシングに入るようにして、バイスハンドルを回します。スリーブが反対側に押し込まれたら、ショックボディを上方向に回転させ、ショック・アイレットがスリーブの中央までスライドするようにします。
5. ショックをバイスから取り外し、アルミ製スリーブスペーサーを両サイドに取り付けます。
6. ショック・アイレットをバイスに再装填し、最終的なセンタリング調節のためにハンドルを上下に回します。



1/4 インチのボルトエクストラクタ工具

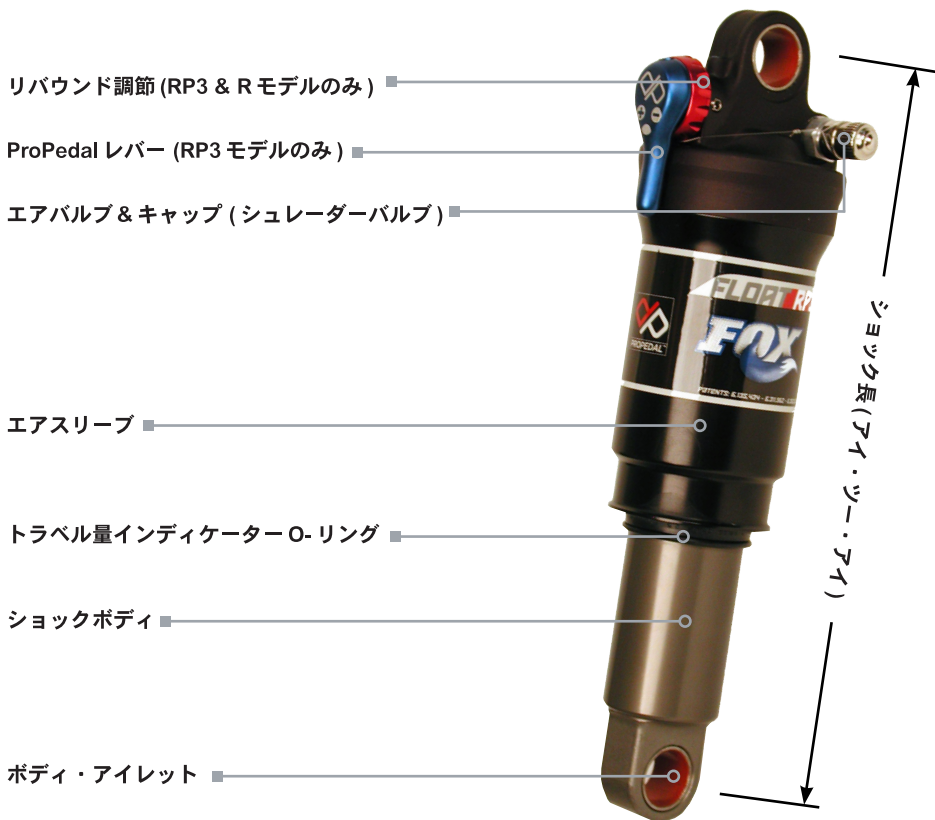


ボルトエクストラクタ工具を、リデューサーに差し込みます。



Centering バイス上のアルミ製ハードウェアのセンタリング

	FLOAT RP3	FLOAT R	FLOAT
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 調節可能な ProPedal</li> <li>&gt; 調節可能なエアスプリング</li> <li>&gt; 調節可能なリバウンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 調節可能なエアスプリング</li> <li>&gt; 調節可能なリバウンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 調節可能なエアスプリング</li> </ul>
			
調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; リバウンド：ノブ（赤色）</li> <li>&gt; ProPedal 調節：青色レバー</li> <li>&gt; エアスプリング調節：シュレダーバルブ経由</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; リバウンド：ノブ（赤色）</li> <li>&gt; エアスプリング調節：シュレダーバルブ経由</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; エアスプリング調節：シュレダーバルブ経由</li> </ul>





## FLOAT SHOXの取り付け (全 FLOAT モデル)

ショックがオリジナル装備でない自転車に、FLOAT ショックを取り付ける場合：

1. ショックを取り付けます。
2. エアキャップを取り外し、エアチャンバから空気を抜きます。
3. サスペンションがトラベル全体を一回転するように回します。
4. サスペンションがトラベルを回転する間に、ショックのすべての部品がフレームおよびスイングアームに触れていないかを確認します。

## サグ設定 (全 FLOAT モデル)

FLOAT ショックの機能を最適化するためには、サグを調節する必要があります。初めてのサグの測定の場合は、105 ページのサグ測定を参照して下さい。

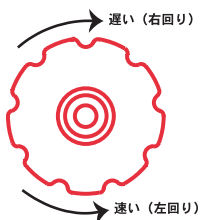
サグを設定するには：

1. ショック上のシュレダー・エアバルブを見つけ、バルブキャップを取り外します。
2. FOX Racing Shox ポンプを、ゲージに圧力が表示されるまで、エアバルブに回しながら取り付けます。絶対に締めすぎないで下さい。
3. お好みの空気圧がゲージに表示されるまで空気圧を加えます。サグ設定については、下記のエアスプリングの設定を参照して下さい。
4. ポンプをエアバルブから外し、サグを測定します。
5. 適切なサグ値になるまで2から4の作業を繰り返します。

### エアスプリングの設定

ショックトラベル インチ/ ミリメートル	サグ推奨値インチ/ ミリメートル
1.00/25.4	.25/6.4
1.25/31.7	.31/7.9
1.50/38.1	.38/9.5
1.75/44.4	.44/11.1
2.00/50.8	.50/12.7
2.25/57.1	.56/14.2
2.50/63.5	.62/15.7
3.00/76.2	.75/19.1

## リバウンド調節 (FLOAT RP3 & FLOAT Rのみ)



リバウンド・ダンピングが、ショックが圧縮された後に戻る速度を制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。

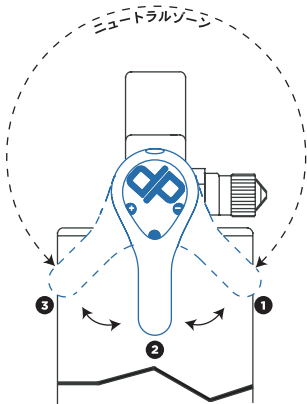
9クリックの調節段階があります。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

## ProPedal 調節 (FLOAT RP3のみ)

3段階 ProPedal チューニングレバーで、走行中の ProPedal 調節が可能で、ProPedal ダンピングが、ペダルによって引き起されるサスペンション・ポブを軽減します。3段階の調節レベルとは：



1. ライト ProPedal
2. ミディアム ProPedal
3. フル ProPedal

異なる走行条件、走行環境に応じ、各設定によってショックをチューニングします。例えば、山頂を目指す際にはフル ProPedal ポジションに設定し、逆に下るときにはライト ProPedal ポジションに設定します。サスペンションのデザインと乗り手の経験により、最適な設定は、自転車および乗り手ごとに異なります。

どの ProPedal ポジションが最適かを判断するには、自転車を時速24Kmで走行し、ショックの動きをモニタリングします。ポジションを変更してみて、好ましいポブ吸収が得られると共に、最も効果的にサスペンションの動きを軽減するポジションを選択します。なお設定は、走行条件、走行環境で変化することがあります。

フル ProPedal とライト ProPedal 調節の間にある "ニュートラルゾーン" は、2つのポジションの間にある単なる推移帯です。しかし、戻り止めがないため、ハードライディング中に、レバーが偶然、フル ProPedal またはライト ProPedal 設定にシフトすることが考えられるので、FOX は、レバーを "ニュートラルゾーン" にしておかないようにお勧めしています。

## ProPedal バルブ調節 (FLOAT RP3 & FLOAT Rのみ)



ライト ProPedal



ミディアム ProPedal



フル ProPedal

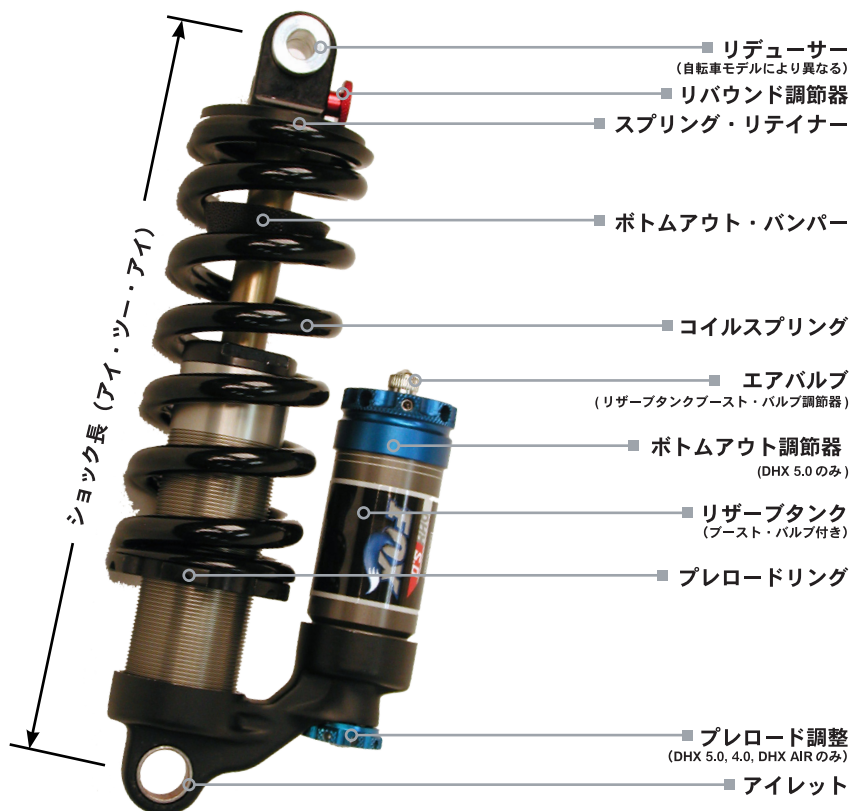
FOX Racing Shox とお買上げのバイクメーカーが協力した結果、お手持ちの自転車のリアサスペンションのデザインに最適な ProPedal のチューンアップを備えた FLOAT RP3 / FLOAT R ショックを実現しました。この内部機能による ProPedal バルブ調節は、上記のユーザーが調節できる ProPedal チューニングとは異なるものです。

ご使用の FLOAT RP3 / FLOAT R は、次の3つの設定の中の1つとして自転車メーカーに引渡されたものです：ファーム、ミディアム、ライト

お手持ちの FLOAT RP3 / FLOAT R の設定は、エアスリーブの低部にあるバンドに、左に示すアイコンを用いて表示されています。ライトは、一番小さいバーで表わされています。ミディアムは、中程度のバーで表わされています。ファームは、一番大きいバーで表わされています。該当する調節方法がハイライトされ、上部および底部の側面に、矢印で表示されます。

お買上げの 2006 FLOAT RP3 / FLOAT R は、FOX のこれまで最高の FLOAT ショック ProPedal の走行性能を実現する最新の先端圧縮ダンピング技術を用いています。お買上げの ProPedal 調節の変更は、Fox の認定サービスセンターで、保証対象外のため、手数料をいただいで行なっています。

	5.0	4.0	3.0
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; ブースト・バルブ/位置検出</li> <li>&gt; 調節可能 ProPedal</li> <li>&gt; 調節可能ボトムアウト・レジスタンス</li> <li>&gt; シューダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲</li> <li>&gt; リバウンド調節器</li> <li>&gt; コイルスプリング・プレロード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; ブースト・バルブ/位置検出</li> <li>&gt; 調節可能 ProPedal</li> <li>&gt; シューダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲</li> <li>&gt; リバウンド調節器</li> <li>&gt; コイルスプリング・プレロード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; ブースト・バルブ</li> <li>&gt; シューダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲</li> <li>&gt; リバウンド調節器</li> <li>&gt; コイルスプリング・プレロード</li> </ul>
調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; リバウンド：ノブ (赤色)</li> <li>&gt; ボトムアウト調節：大きいダイヤル (青色)</li> <li>&gt; ProPedal 調節：小さいダイヤル (青色)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; リバウンド：ノブ (赤色)</li> <li>&gt; ProPedal 調節：小さいダイヤル (青色)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; リバウンド：ノブ (赤色)</li> </ul>



## DHX ショックの取り付け (DHX 5.0、4.0 & 3.0)

DHX ショックが、オリジナル装備でない自転車に取り付ける場合：

1. ショックを、スプリング・リテイナーと共に、しかしスプリングなしで取り付けます。(スプリングを取り外すには、114 ページの **スプリング交換**の説明にあるステップ 1-3 を行なって下さい。)
2. サスペンションがトラベル全体を一回転するよう、慎重に回します。
3. サスペンションがトラベルする間に、ショックのすべての部品がフレームおよびスイングアームに触れていないかを確認します。
4. スプリングをショック上の正しい位置に戻します。(スプリングの取り付けは、114 ページの **スプリング交換**の説明にあるステップ 4-7 の手順で行なってください。)
5. 次項 **サグ設定**の説明に従い、サグを設定します。

## サグ設定 (DHX 5.0、4.0 & 3.0)

お買上げの DHX ショックの最高の走行機能をお楽しみいただくには、サグの設定が必要となります。サグを設定するには：

1. 105 ページの **サグ測定**の説明に従いサグを測定し、下記の **コイルスプリング設定表**にあるサグ設定推奨値と比較します。
2. それに基づき、プレロードリングを調節します。

**サグ値が表の数値より低い場合は**、プレロードノブを左回りに回します。常に、スプリングがしっかり固定され、勝手に動かないことを確認して下さい。



プレロードリングがスプリングと噛み合ったら、プレロードリングを右方向へ一回回します。適切なサグを得るために、このポジションからプレロードリングを左方向に回す必要があれば、よりレートの高いスプリングを使う必要があります。

**サグ値が表の数値より高い場合は**、プレロードリングがスプリングと噛み合ったら、プレロードリングを右方向に最大二回まで完全に回します。

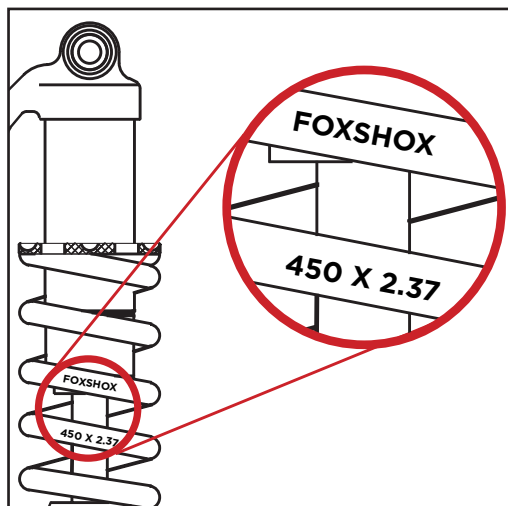


プレロードリングがスプリングと噛み合った後、適切なサグ値を得るために、スプリングを右方向に完全に二回以上回す必要があれば、よりレートの高いスプリングを使う必要があります。

3. 必要な場合は、FOX Racing Shox または認定サービスセンターで、レートの高いまたは低いスプリングをお求め下さい。

### コイルスプリングのチューニング

ショックのトラベル インチ/ミリ	推奨サグ値 インチ/ミリ
2.00/50.8	.50/12.7
2.25/57.1	.56/14.3
2.50/63.5	.63/15.9
2.75/69.6	.69/17.5
3.00/76.2	.76/19.0



スプリングプレートは、ショックスプリングに、直接印刷されています。上記スプリングは、トラベルが 2.37 インチで、スプリングプレートが 450-lb/in のものです。

## スプリング交換 (DHX 5.0、4.0 & 3.0)

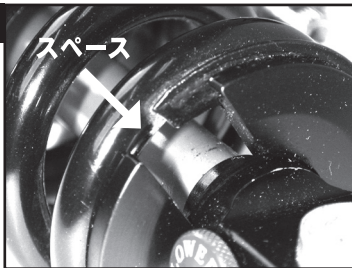
1. スプリングが楽に動くようになるまで、プレロードリングを緩めます。
2. スプリングを持ち上げ、スプリング・リテーナーを取り外します。
3. スプリングをショックのボディ上でスライドさせます。自転車のモデルによっては、リデューサーを取り外してからスプリングを取り外さなければならないものがあります。
4. 新しいスプリングを正しい方向に置き (下記スプリングオリエンテーションを参照)、ショックボディ上へスライドさせます。
5. スプリング・リテーナーをスプリングの下のショック上の位置に戻し、スプリング・リテーナーの Slots の開放部がスプリング端の平らな部分にくるようにします。
6. プレロードリングを、スプリングが動かなくなるまで丁度に締めます。
7. プレロードリングを完全にもう一度回します。

## スプリングオリエンテーション

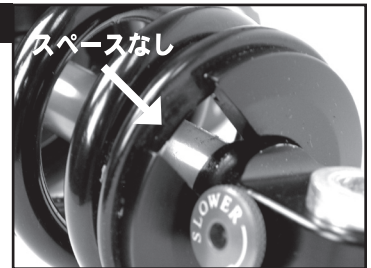
スプリングをショックボディに付け直すとき、スプリングが正しい方向に設置されていることが重要です。原則的に、スプリング・リテーナーのスペースが、スプリングが輪状になってくる部分ではなく、スプリングの平らな部分の上にくるようにします。正しい方向になるまで、スプリング・リテーナーを回転させます。

オリエンテーションが正しくない場合には、スプリングに修理不能の故障が生じ、制御を失った結果、致命的となる重傷を負う場合がありますので、ご注意下さい。下記の図は、正しいスプリングオリエンテーションと誤った例を示しています。正しいスプリングオリエンテーションは、コイルスプリングを使う FOX Racing Shox リアショックの全製品に当てはまります。

誤り



正しい



## リバウンド調節 (DHX 5.0、4.0 & 3.0)



リバウンドは、ショックが圧縮された後に戻るレートを制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

## ボトムアウト・レジスタンス (DHX 5.0のみ) の調節

ボトムアウト・レジスタンスは、圧縮ストロークの最終部分に影響を与えます。ボトムアウトの調節はブースト・バルブ内の圧力を最大 125psi にして行います。ノブは手で回すことが出来ますし、また外辺部にある穴の 1 つに 4mm のヘキサキーを挿入することで回すことが出来ます。4mm のヘキサキー以外のツールでノブを絶対に回さないで下さい！

ノブを完全に右回りに回すことで最大のボトムアウト・レジスタンスを得ることが出来ます。また左回りに回すと弱くすることが出来ます。調節の際には3回転回すことが出来、リザーブタンク上には対応した3つの調節インディケーターラインがあります。



ノブが滑らかに回らない場合には、ノブを最大容量にセットし 2mm (5/64 インチ) のヘクサキーを使って外辺部の穴のネジを緩めてノブを取り外します。ノブの汚れを十分に取除き、グリースを塗り、再度取り付けます。

### ProPedal 調節 (DHX 5.0. & 4.0 のみ)

ProPedal 調節ノブにより乗り手は ProPedal ダンピングの総量を調節することが出来ます。ProPedal ダンピングは圧縮ストロークの出だしに影響を与え、ペダルによって発生するサスペンション・ボブを制御するように設計されています。サスペンションの設計が異なるため、必ずしもすべての自転車に同レベルのブースト・バルブによる ProPedal ダンピングが必要なわけではありません。

15 クリックの調節段階があります。ProPedal 設定を最も軽いものにするにはノブを完全に左回りに回し、逆に最も重い ProPedal ダンピングにするには完全に右回りに回します。

### ブースト・バルブ



ブースト・バルブによって、スクエアエッジの衝撃吸収からボトムを感じさせないストロークエンド感までの効率的な ProPedal の切れ目のない移行を可能にする位置検出ダンピングのスキームがつくれます。ブースト・バルブは、ProPedal とボトムアウト調節を分断し、ProPedal プラットフォームの調節がボトムアウト調節から独立して行えるようにします。

ブースト・バルブは直接調節されません。その代わりに、その動きと走行機能の特性は、リザーブタンク内の空気圧設定と ProPedal ノブ (DHX 5.0 & 4.0 のみ) の調節によって決まります。

お買上げの DHX ショックの圧縮ダンピング特性を変えるには、FOX 高压ポンプ (105 ページの FOX 高压ポンプを使用を参照) をリザーブタンク上のエアバルブ取り付けます。

固い感じの走行には、10-15 ポンドの空気圧を追加します。

柔らかい感じの走行には、ポンプのブリードバルブを使い、ショックの空気圧を 10-15 ポンド下げます。

手順を繰返す前に、自転車に乗って設定の確認を行ないます。



リザーブタンク・エアチャンバの空気圧が 200PSI 以上または 75PSI 未満の状態の場合は、決して自転車に乗らないでください。そのような走行によりショックに発生した損傷は、保証対象外の修理が必要となります。

### ProPedal およびブースト・バルブの相互作用 (DHX5.0 & 4.0 のみ)

ブースト・バルブの様々な点が ProPedal 調節に影響します。ProPedal 調節ノブが完全に左回りに回っている (最も軽い ProPedal ダンピング・ポジション) にあるにも関わらず圧縮ダンピングがまだ強い場合には、リザーブタンク上のシュレーダーバルブにショックポンプを取り付け、圧力を 10-15psi 減圧します。そしてお好みの圧縮ダンピングになるまで繰り返します。ProPedal 調節ノブが完全に右回りに回していても十分な圧縮ダンピングを得られない場合には、お好みの圧縮ダンピングが得られるまでブースト・バルブに 10-15psi の圧力を加えます。

## AIR 5.0

## 機能

- > ブースト・バルブ/位置検出
- > 調節可能なエアスプリング
- > 調節可能な ProPedal
- > 調節可能なボトムアウト・レジスタンス
- > シュレダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲
- > リバウンド調節器

## 調整

- > リバウンド：ノブ（赤色）
- > ボトムアウト調節：大きいノブ（青色）
- > ProPedal 調節：小さいダイヤル（青色）
- > エアスプリングのチューニング：メインエアチャンバ経由のローアーボディ上のシュレダーバルブ

**リデューサー** ■  
(自転車モデルにより異なります)

**ショックボディ** ■

**エアバルブ** ■  
(リザーブタンクブースト・バルブ調節器)

**ボトムアウト調節** ■  
(調節可能)

**リザーブタンク** ■

**エアスリーブ** ■

**ProPedal 調節** ■

**リバウンド調節** ■

**エアバルブ** ■  
(メインエアチャンバ調節)



ショック長 (アイ・ツー・アイ)

## DHX エアショックの取り付け

DHX エアショックを、ショックがオリジナル装備でない自転車に取り付ける場合：

1. ショックを取り付けます。
2. メインエアチャンバエアキャップを取り外し、メインエアチャンバから空気をすべて抜きます。
3. サスペンションがトラベル全体を一回転するように回します。
4. サスペンションが完全にトラベルする間、ショックのすべての部品がフレームおよびスイングアームに触れていないか確認します。

## サグ設定

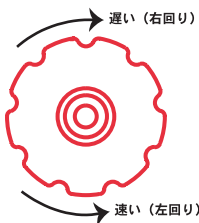
FLOAT ショックの走行機能を最適化するためには、サグを調節する必要があります。サグを設定するには：

1. ショック上のシュレージャー・エアバルブを見つけ、バルブキャップを取り外します。
2. FOX Racing Shox ポンプを、ゲージに圧力が表示されるまで、エアバルブに回しながら取り付けます。絶対に締めすぎないで下さい。
3. お好みの空気圧がゲージに表示されるまで空気圧を加えます。サグの設定には、下記のエアスプリング設定表を参照して下さい。
4. ポンプをエアバルブから外し、サグを測定します。
5. 適切なサグ値になるまで2から4の作業を繰り返し、その後、バルブキャップを交換します。

### エアスプリングの設定

ショックトラベル量 インチ/ミリメートル	サグ推奨値 インチ/ ミリメートル
2.00/50.8	.25/6.3
2.25/57.2	.56/14.2
2.50/63.5	.62/15.7
3.00/76.2	.75/19

## リバウンド調節



リバウンドは、ショックが圧縮された後に戻るレートを制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。



参考までに、方向は、リザーブタンクの上（エアバルブキャップ側）から見おろしたものです。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

## ボトムアウト・レジスタンス調節

ボトムアウト・レジスタンスは、圧縮ストロークの最終段階に影響を与えます。ボトムアウトの調節はブースト・バルブ内の圧力を最大 125psi にして行います。ノブは手で回すことが出来ますし、また外辺部にある穴の1つに4mmのヘキサキーを挿入することで回すことが出来ます。ノブを回転させる場合には、4mm(5/32インチ)のヘキサキー以外のツールは絶対に使用しないで下さい！



ノブを完全に右回りに回すことで最大のボトムアウト・レジスタンスを得ることが出来ます。また左回りに回すと弱くすることが出来ます。調節の際には3回転することが出来、リザーブタンク上には対応した3つの調節インディケーターラインがあります。



ノブが滑らかに回らない場合には、ノブを最大容量にセットし 2mm (5/64 インチ) のヘキサキーを使って外辺部の穴のネジを緩めてノブを取り外します。汚れを十分に落してからグリースを塗り、再度取り付けます。

## ProPedal 調節



ProPedal 調節ノブにより、乗り手は ProPedal ダンピングの量を調節することが出来ます。ProPedal ダンピングは圧縮ストロークの出だしに影響を与え、ペダルによって発生するサスペンション・ボブを制御するように設計されています。サスペンションの設計が異なるため、必ずしもすべての自転車に同レベルのブースト・バルブによる ProPedal ダンピングが必要なわけではありません。

15 クリックの調節段階があります。ProPedal 設定を最も軽いものにするにはノブを完全に左回りに回し、逆に最も重い ProPedal ダンピングにするには完全に右回りに回します。

## ブースト・バルブ

ブースト・バルブによって、スクエアエッジの衝撃吸収から底を感じさせないストロークエンド感までの効率的な ProPedal の切れ目のない移行をを可能にする位置検出ダンピングのスキームがつけられます。ブースト・バルブは、ProPedal とボトムアウト調節を分断し、ProPedal プラットフォームの調節がボトムアウト調節から独立して行えるようにします。

ブースト・バルブは直接調節されません。その代わりに、その動きと走行機能の特性は、リザーブタンク内の空気圧設定と ProPedal ノブの調節によって決定されます。

お買上げの DHX ショックの圧縮ダンピング特性を変えるには、FOX 高圧ポンプ（105 ページの FOX 高圧ポンプを使用を参照）をリザーブタンク上のエアバルブ取り付けます。

固い感じの走行には、10-15 ポンドの空気圧を追加します。

柔らかい感じの走行には、ポンプのブリードバルブを使い、ショックの空気圧を 10-15 ポンド下げます。

手順を繰返す前に、自転車に乗って設定の確認を行ないます。

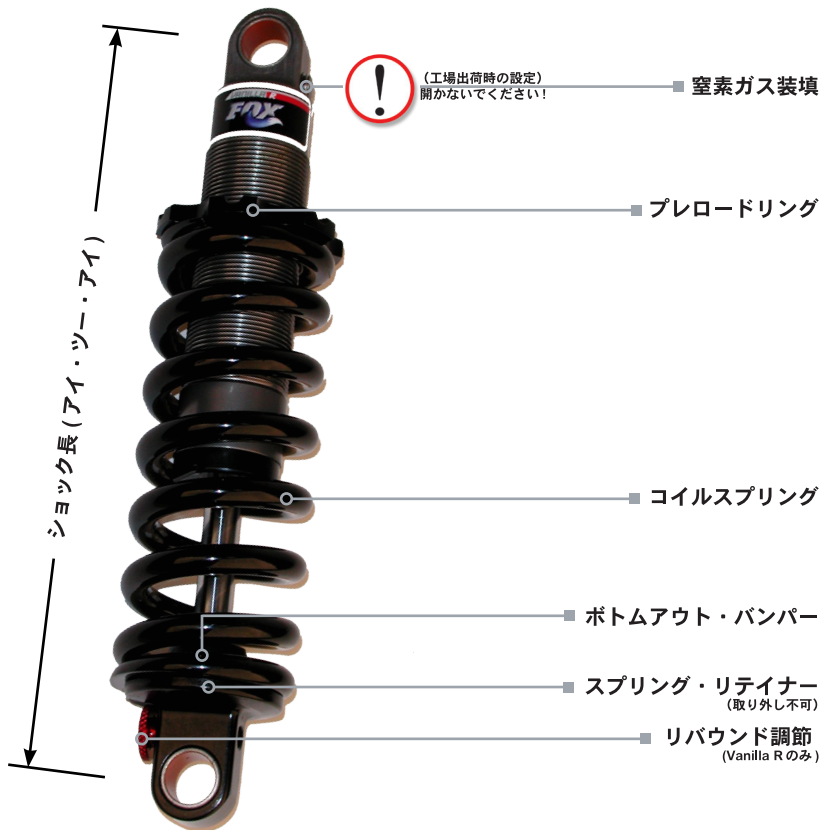


リザーブタンク・エアチャンバの空気圧が 200PSI 以上または 75PSI 未満の状態の場合は、決して自転車に乗らないでください。そのような走行によりショックに発生した損傷は、保証対象外の修理が必要となります。

## ProPedal およびブースト・バルブの相互作用

ブースト・バルブの様々な点が ProPedal 調節に影響します。ProPedal 調節ノブが完全に左回りに回っている（最も軽い ProPedal ダンピング・ポジション）にあるにも関わらず圧縮ダンピングがまだ強い場合には、リザーブタンク上のシュレーダーバルブにショックポンプを取り付け、圧力を 10-15psi 減圧します。そしてお好みの圧縮ダンピングになるまで繰り返します。ProPedal 調節ノブが完全に右回りに回していても十分な圧縮ダンピングを得られない場合には、お好みの圧縮ダンピングが得られるまでブースト・バルブに 10-15psi の圧力を加えます。

	Vanilla R	Vanilla
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; ProPedal (工場出荷時の設定)</li> <li>&gt; リバウンド調節器</li> <li>&gt; コイルスプリング・プレロード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; コイルスプリング・プレロード</li> </ul>
調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; リバウンド: ノブ (赤色)</li> <li>&gt; プレロード: プレロードリング (黒色)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; プレロード: &gt; プレロードリング (黒色)</li> </ul>



## VANILLA SHOXの取り付け

ショックがオリジナル装備でない自転車に、VANILLAショックを取り付ける場合：

1. スプリングなしでショックを取り付けます。(スプリングの取り外しを行なうには、次ページのスプリング交換の説明のステップ1-3の作業を行ないます。)
2. サスペンションがトラベル全体を一回転するよう、慎重に回します。
3. サスペンションが完全にトラベルする間、ショックのすべての部品がフレームおよびスイングアームに触れていないかを確認します。
4. スプリングをショック上の正しい位置に戻します。スプリングの取り付けは、121ページのスプリング交換の説明にあるステップ4-7の手順で行なってください。
5. 次項サグの設定の説明に従い、サグを設定します。

## サグ設定

お買上げのVANILLAショックの最高の走行機能をお楽しみいただくには、サグの設定が必要となります。サグを設定するには：

1. 105ページのサグ測定の説明に従いサグを測定し、下記のコイルスプリング設定表にあるサグ設定推奨値と比較します。
2. それに基づき、プレロードリングを調節します。

サグ値が表の数値より低い場合は、プレロードノブを左回りに回します。常に、スプリングがしっかりと固定され、勝手に動かないことを確認して下さい。



プレロードリングがスプリングと噛み合ったら、プレロードリングを右方向へ一回回します。適切なサグを得るために、このポジションからプレロードリングを左方向に回す必要があれば、よりレートの高いスプリングを使う必要があります。

サグ値が表の数値より高い場合は、プレロードリングがスプリングと噛み合ったら、プレロードリングを右方向に最大二回まで完全に回します。

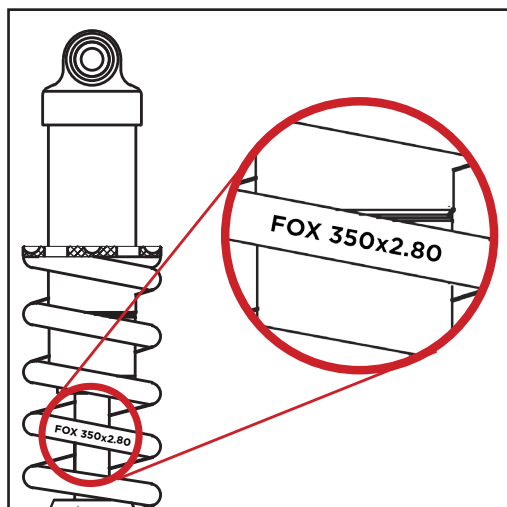


プレロードリングがスプリングと噛み合ったら、適切なサグ値を得るために、スプリングを右方向に完全に二回以上回す必要があれば、よりレートの高いスプリングを使う必要があります。

3. 必要な場合は、FOX Racing Shoxまたは認定サービスセンターで、レートの高いまたは低いスプリングをお求めください。

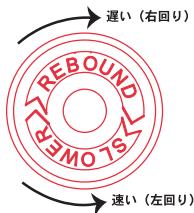
### コイルスプリングのチューニング

ショックのトラベル インチ/ミリ	推奨サグ値 インチ/ミリ
1.00/25.4	.25/6.4
1.25/31.7	.31/7.9
1.50/38.1	.38/9.5
1.75/44.4	.44/11.1
2.00/50.8	.50/12.7
2.25/57.1	.56/14.3
2.50/63.5	.63/15.9



スプリングレートは、ショックスプリングに、直接印刷されています。上記スプリングは、トラベルが2.80インチで、スプリングレートが350-lb/inのもので、

## リバウンド調節 (VANILLA Rのみ)



リバウンドは、ショックが圧縮された後に戻るレートを制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

## スプリング交換 (全 VANILLA モデル)

1. スプリングが楽に動くようになるまで、プレロードリングを緩めます。
2. スプリングを持ち上げ、スプリング・リテイナーを取り外します。
3. スプリングをショックのボディ上でスライドさせます。自転車のモデルによっては、リデューサーを取り外してからスプリングを取り外さなければならないものがあります。
4. 新しいスプリングを正しい方向に置き (114 ページの **スプリングオリエンテーション** を参照)、ショックボディ上へスライドさせます。
5. スプリング・リテイナーをスプリングの下のショック上の位置に戻します。
6. プレロードリングを、スプリングが動かなくなるまで丁度に締めます。
7. プレロードリングを完全にもう一度回します。